



2022年4月15日発行（季刊）

認定 NPO 法人 市民シンクタンクひと・まち社

〒160-0021 新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 501

TEL 03-3204-4342 FAX 03-6457-6202

E-mail npo@hitomachi.org

URL : <http://www.hitomachi.org>

郵便振替口座 00170-6-410791 NPO 法人市民シンクタンクひと・まち社

コロナ禍で浮かび上がった若者のデジタルデバйд

認定 NPO 法人市民シンクタンクひと・まち社 理事 中瀬 剛 丸

「え?どうしよう」というのが正直な気持ちだった。2020年の春、大学の授業をすべてオンラインで行うという連絡がきたときのことだ。IT オンチを自認する身であり、自撮りの動画を配信することなどできない。授業支援のシステムを使いこなす自信はない。マニュアルを一つ一つ確認しながら、なんとかリモート授業をスタートさせた。それから2年、新学期は原則として対面授業となった。コロナ禍によって日本のデジタル化の遅れを指摘する声が強まり、政府はデジタル庁を発足させた。デジタル化への対応が急務であることは実感している。オンデマンドで取り組めるリモート授業、会議システムを使った同時双方向型授業、それに課題へのフィードバックなどを組み合わせれば、単純な対面授業よりも教育効果が得られるオンライン授業が可能だと考えるようになっていく。教育の現場でのデジタル化は、これからも進展していくことだろう。

学生たちの多くは、私よりも柔軟にオンライン授業に対応できている。コロナ禍が収束した後も、一定割合でオンライン授業を取り入れることを学生たちは望んでいるという調査結果もある。そうした中で、私が気になっているのがデジタルデバйд、情報格差だ。

単位の修得ができていない学生をフォローする中で、オンライン授業のためのシステムへのログインの仕方が分からないまま時間が過ぎてしまい学修意欲が萎えてしまったケースや、孤立した状態で誰にも相談できないままひきこもってしまうケースがあることに気づかされた。ごく少数ではあるものの IT スキルが不足していることで、大学での学びから脱落した学生が存在している。IT スキルは学修の効率を左右する。課題のレポートを書くスピード、調べものをする際の手際の良し悪し、提出ミスを防ぐ習熟の程度など、IT スキルが高い学生は好成績をと

りやすくなる。処理速度の速さといったパソコンのハード面も学修の効率に影響する可能性がある。

就職活動にも IT スキルが不可欠になっている。オンラインのインターンシップ、オンラインの説明会、会議システムを使ったグループディスカッション、オンラインの面接、さらに自撮りの自己 PR 動画の提出を求める会社もある。ビジネスの現場のデジタル化が進んでいるのだから、企業がそれに対応できる人材を求めるのは自然の流れだろう。

今の学生はスマホを使いこなしている。中学生や高校生の日常生活では、パソコンの必要性を感じる場面は少ないだろう。しかし、スマホで大学の授業の課題をこなすのは効率が極めて悪い。就活でも IT スキルの高い人材がより条件のよい仕事に就ける可能性が高くなる構造になってきている。

コロナ禍で感じた学生の IT スキルの高低の背景には、中学・高校時代から自分のパソコンを買ってもらって自由に使っていたかどうかといった家庭環境の違いがあると考えられる。デジタルデバйдは経済的な格差と関連があると言えるだろう。私自身は IT オンチであり、デジタル化の大波を乗り越えようという意欲も持てないのだが、間もなくリタイアという立場であり、「まあいいか」と高を括ることができる。しかし、これから社会に出る若者たちのデジタルデバйдはそれぞれの生活の質を左右する可能性があり、見過ごせない問題だと感じている。

